



メールマガジン

2007年10月号 (Vol.2 No.10)

2007/10/31

目次

○ トピックス

北京大学外国語学院日本語文化系主任 来所
東北師範大学における留学説明会 開催
中国赴日本国留学生予備学校でにおける留学説明会 開催

○ 2008年オリンピック特集

○ 九大人

中国科学院工程熱物理研究所所長 黄偉光

○ 中日最前線

○ Q-ナビ

メールマガジンへの寄稿

去年4月に九州大学北京事務所の設置に伴い、事務所の情報発信手段として、本メールマガジンが創刊されました。さまざまな不安材料を抱えての船出でしたが、今では約数千人の方々へ毎月配信するまでになりました。これらも、ひとえに皆様のご支援のおかげでございます。

この一年を繰り替えて見れば、本メールマガジンは皆さんの期待に答える情報交換の機能を果たしてきたわけではありません。情報収集、編集の力が不足で、作業が追いつかないため、提供した情報の量が少ないのみでなく、未完成的なままで掲載してしまった記事も数多くあり、反省することしきりです。

年が改まるというのは、単に時間が経過したにすぎません。しかし、時間が経過したということは、いつまでも進歩なしままで許されるわけではないと受け止めています。今年は、「九大人」、「中日最前線」、「ミニリサーチ」、「Q-ナビ」などのコーナーを設け、皆様からの情報をお募りしながら、本メールマガジンの内容を充実することを図っています。この目標を実現するため、事務所一丸となって努力してまいりますので、読者の皆様も是非とも応援のほどよろしくお願いいたします。

ご寄稿くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛にお送りください。電子ファイルを添付していただくと、編集が効率的にできます。お読みになってのご意見やご感想をもお待ちしております。

編集代表者:九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏

発行:九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局

住所:〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号鑄誠大厦B座2008室

電話:+86-10-5158-1387 ファックス:+86-10-5158-1367

メール:peiking_office@yahoo.co.jp (日本語)

kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

■ トピックス ■

1

北京大学外国語学院日本語文化系主任 来所



10月17日(木)午後、北京大学外国語学院日本語文化系趙華敏主任、騰軍先生が事務所に訪ねた。北京大学日本語学科と九州大学との学生交流の推進について宋敏所長と意見交換を行った。宋所長は九州大学の留学プロジェクト、奨学金及び留学手続き等について説明。北京大学外国語学院日本語文化系と九州大学北京事務所と協力して、北京大学の優秀な学生の九州大学への留学を積極的に支援すると合意した。

2

東北師範大学における留学説明会 開催

10月24日(水)午後、在中国の日本駐在機関や大学が東北師範大学の学部生及び大学院生を対象とした合同留学説明会を開催。日本学術振興会のほかに、北海道大学、名古屋大学、広島大学、創価大学及び九州大学の代表が説明会に出席した。東北師範大学の学部生から博士課程学生までおよそ数百人が今回の説明会に参加した。九州大学北京事務所副所長杜孝平博士が九州大学を代表として説明会に出席し、九州大学の概況や留学プロジェクト、中国留学生を対象とする奨学金の種類と金額などについて紹介した。



■ トピックス ■

3

中国赴日本国留学生予備学校における留学説明会 開催



10月25日（木）午後、在中国日本大使館、日本学術振興会及び東北師範大学が共催した日本留学説明会が東北師範大学にある中国赴日本国費留学生予備学校で開催された。110名余りの日本文部省国費奨学金留学生候補者を対象とする留学説明会は、日本の大学紹介により、留学生と指導教官とうまくマッチングできることを目的としている。日本大使館、日本学術振興会のほかに、早稲田大学、東北大学、北海道大学、名古屋大学、広島大学、創価大学、九州大学の代表が説明会に出席。九州大学の説明チームには、工学研究院の太田和秀教授、経済学研究院

の稲富信博教授、留学生課小野亮一係長及び北京事務所の杜孝平副所長が参加した。

共同説明会では九州大学の杜孝平副所長が日本文部省奨学金で九大に留学してきた先輩として、自ずからの留学経験や心得について語り、会場の注目を集めた。共同説明後の個別説明の時、大勢の学生が九州大学のブースに寄せ、説明会に出た九州大学の先生方々と指導教官の決め方や連絡先、福岡での日常生活や学習環境などについて興味津々に情報交換を行った。



■2008年オリンピック特集■



この特集は、2008年五輪に注目し、今から開催までの最新情報、マスコット、関連施設紹介または主開催地である北京での観光や娯楽を皆さんに紹介致します。寄稿や意見などはe-mailでお送りください。



最新情報

9割の海外観光客 北京五輪マスコットの「晶晶」を気に入る

http://japanese.china.org.cn/olympic/2007-10/14/content_9049777.htm

日本 北京五輪のチケット4.2万枚を獲得

http://japanese.china.org.cn/olympic/2007-10/11/content_9034923.htm

五輪期間の北京ホテル、過去の開催都市より低料金

http://japanese.china.org.cn/olympic/2007-10/31/content_9151680.htm

第二期の五輪チケット販売が開始 来年1月まで

http://j.peopledaily.com.cn/2007/10/30/jp20071030_78875.html



関連施設紹介



北京射撃館は北京西郊五環路の傍に位置している。南側は香山南路に接し、北側に翳微山脈がある。総建築面積 4万5645平方メートルで、予選館、決勝館、恒久銃弾庫とその他の付帯施設がある。競技、訓練、研究を一体にした総合的施設である北京射撃館は、オリンピックの10メートル、25メートル、50メートルライフルとピストルの計10種目の競技が行われるだけでなく、パラリンピック、アジア大会など総合的競技会やワールドカップなどの大きな国際射撃競技会も開催できる。また長期的にナショナルチームに世界一流の練習場を提供していく。同時に2線選手の練習や青少年選手育成の基地にもなる。2004年7月13日の正式着工から竣工・供用まで、3年かかった。

金メダル紹介(2)



これまでの五輪メダルの材料は変わることがないが、北京五輪のメダルは従来の慣例を突き破り、玉をちりばめることになった。このデザインはIOCの関連規定に符合し、玉の気高い品性を際立て、中国の人々がオリンピック精神をたたえ、五輪選手に対する最高の敬意を表したもの。

北京・東眺西望

雍和宮は清代康熙三十三年(1694)に建立された。北京地区で規模最大、最も完全な形で残存するラマ教(チベット仏教)黄教の寺院。廟は南に向かって立ち、



雍和宮

南から北へと牌楼院、昭泰門、天王殿、雍和宮殿、永佑殿、法輪殿、万福閣などが並んでいる。

法輪殿内に安置された「五百羅漢山」は紫壇製で、幅3メートル余り、高さ約5メートル、厚さ30センチ。金や銀、銅、鉄、スズの5種類の金属で製作された「五百羅漢」は雍和宮で「3大絶品」の1つに数えられている。万福閣に奉納された巨大な木彫仏像「マイダラ仏」。高さ18メートルで、地中にある部分を含めると背丈は26メートルになる。これも「3大絶品」の1つであり、1990年にギネスに登録された。このほかに雍和宮は数多くの仏像、そして仏教に関する資料や写真を保存しており、それぞれの殿で公開されている。

■ 九大人 ■

時計の針が止まらず
歳月がここに留まる
九州大学北京事務所
九大人がここにいる

本コーナーでは、ミニ事典、現場直撃リポート、インタビュー、奮闘記などの側面から、九大OB及び九大の先生や教職員を描きます。人選は事務所で選ぶと同時に、ご紹介になりたい方をも募集。投稿はE-mailでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不相当と思われる内容は掲載しません。

黄偉光

☆☆☆☆☆

中国科学院工程熱物理研究所所長
工学博士

No pain, No gain.



足 跡

- | | |
|-------|----------------------|
| 1962年 | 生まれ |
| 1981年 | 公費で日本の九州大学へ留学 |
| 1986年 | 工学学士の学位を獲得 |
| 1988年 | 工学修士の学位を獲得 |
| 1991年 | 工学博士の学位を獲得 |
| 1993年 | 副研究員 |
| 1996年 | 研究員 |
| 1998年 | 工程熱物理研究所常務副所長 |
| 2001年 | 工程熱物理研究所所長 |
| 2003年 | 中国人民政治協商会議第十回全国委員会委員 |

インタビュー

- 1、同窓生の皆さんに一言ご挨拶をお願いいたします。
エネルギーや環境問題に注目していますか。
- 2、好きな言葉は。
「時の流れに身を任せ」
- 3、留学した期間の一番忘れられない人はどなたですか、なぜですか。
難波昌伸教授です。先生から教わった知恵は今の仕事に生かされています。
- 4、お休みの日、どうやってお過ごしますか、ご趣味は何ですか。
最近殆ど休みはありません。こういう状態は良くないとは思いますが、水泳を始めたいと考えています。
- 5、今後九州大学へ留学したい後輩に言いたいことは何ですか。
信念を持って九大に入り、自信を持って九大を出る。

■ 中日最前線 ■



ようこそ！中日最前線は、今月の焦点、流行傾向、最新動き、注意喚起などのテーマで、さまざまな記事やニュースを収集し、みなさんにお届けします。さあ～お読みになってのご意見、ご感想やアドバイスをお待ちしています。

最新動き

中国教育部の周済部長 中国の教育について語る

新華社の報告によると、16日午後、中国共産党の第17回全国代表大会(以下、十七大)のプレスセンターで行われた記者会見では、教育部の周済部長が、われわれは、教育を産業化することに断固に反対すると、はっきり表明した。周部長は、「十七大の報告では、教育の公益性質を保ち、教育への財政投入を増加する方針を決めた。今年、大学受験制度を復帰してからちょっと三十周年となり、この三十年の間に、中国の高等教育は、歴史的な飛躍を遂げ、現在、世界の中では、規模が最も大きく、質の高い教育事業として位置づけられている。この歴史的な飛躍は、中国現代化における重要な基盤であり、中華民族の偉大なる振興に大いに貢献している。」と述べた。

日本財務省 文教予算編成で奨学金事業を削減方針

財務省は28日、来年度予算で文部科学省の奨学金事業予算を削減する方針を固めた。奨学金を遊興費に転用する学生が目立ち、苦学生支援という奨学金本来の意味が薄れつつあると判断している。奨学金を返さず、回収不能に陥った延滞債権総額も急増、平成18年度には2000億円を突破しており、財務省では新たな保証制度の義務化も迫る構えだ。

文科省は「事業費の不足で、貸与の条件を満たしても奨学金を受けられない学生が毎年いるのが現状」として予算増額の必要性を強調するが、財務省は「納税者に説明できるとは思えない」として削減方針を固めている。

★ トレンドキャッチ ★

中国2007年人気ドラマ

——『金婚』



【監督】鄭曉龍

【主要キャスト】

張国立—佟志役

蔣雯麗—文麗役

林永健—大庄役

沈傲君—李天驕役

見どころ：

2人の婚姻生活は、新中国成立後の50年代から、21世紀初めにまで及びます。新中国の激動の五十年間をともに過ごしてきたとも言えます。この物語は、ある男女の五十年間のみならず、新中国の五十年間を追った歴史大作でもあります。編年体の形で、この夫婦の歴史をつぶさに描いています。



今月の焦点

嫦娥1号、順調に打ち上げ



中国月面探査計画のシンボルマーク

月探査衛星「嫦娥1号」の打ち上げは、北京時間24日午後6時5分、四川省の西昌衛星発射センターからキャリアロケット「長征3号甲」を使って順調に完了した。

「嫦娥一号」は中国初の月探査衛星だ。衛星第一号モデルの研究と関連テストが2005年末に完了し、衛星の最終モデルの設計、開発、完成品組立、測定テストおよび各種実験が2006年10月に終了、2007年8月には製品が完成し、各項目テストや審査・検証をパスした。衛星「嫦娥一号」は、衛星「東方紅三号」のプラットフォームが利用され、今回の打上げに適応するための改造が進められた。「嫦娥一号」の外観は「東方紅三号」と類似しており、衛星本体は2.22メートルの×1.72メートル×2.2メートルの六面体。両側には開閉式大型ソーラー翼がそれぞれ装備され、両側のソーラー翼全開時の最大径長さは18メートルに達する。重量は2350キログラム、設計寿命は1年、月表面から高度20キロの軌道を回る。

衛星「嫦娥一号」の任務は次の4項目。

- (1) 月表面の3次元映像の測定
- (2) 月表面に存在する化学元素と物質の探査
- (3) 月の土壌の厚さ測定
- (4) 地球—月間の空間環境の探査

http://j.peopledaily.com.cn/2007/10/22/jp20071022_78470.html



■Q-ナビ■




Q-ナビコーナーは、情報カレンダー、今月の見どころ、九州知恵袋、旬の味等のテーマで、九州大学、九州などを中心として、日本と中国に関する情報を発信します。皆さんにも役に立つ情報を募集致します。寄稿は、e-mailにてお送りください。

情報カレンダー

- 10月15日 本庄国際奨学財団が、海外の大学(学部・大学院)に留学する日本人学生を対象に2008年度奨学生を募集中
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/free-appli/free-application.htm#r3>
- 10月15日 平沢和重奨学金基金が2008年度留学生を募集中 12月21日締め切り
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/free-appli/free-application.htm#r3>
- 10月16日 平成19年度私費留学生のための奨学金情報を更新(現在募集中)
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/student/page1-34/page012.htm>
- 10月26日 第十回中日韓、仏教友好交流フォーラム 北京で開催
<http://japanese.cri.cn/151/2007/10/26/1@106048.htm>
- 11月21日 黄山国際登山大会、来月に開催
<http://japanese.cri.cn/151/2007/10/24/1@105864.htm>

今月の見どころ

-  10月15日～12月12日「日本浮世絵芸術名品展」、北京で開催
http://www.pekinshuho.com/ztlj/txt/2007-10/17/content_81078.htm
-  日本映画紹介の集い(10月、11月)
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu_j/movie_j.htm



重陽節



農曆九月九日は重陽節である。今年は、10月19日となる。中国の古典「易経」では九という数字を陽の数とされ、九が二つ重なるので、「重九」や「重陽」と名づけられたわけである。また、古代に人々は九を陽数として、吉祥、幸福、光明の象徴に考えていた。九九は中国語の「久久」と同音で、長久平安の意味があり、一貫して人々から重視されていた。明・清代の皇帝の住居であった故宮の宮殿の間数も、九千九百九十九間で、長長久久の意味をあらわしている。けれども、重陽を祭りにしたのは、およそ二千年前の東漢の時代である。重陽節の間、山を登ったり、菊の花を観たり、重陽の蒸し菓子を食べたり、茱萸を着けたりして無事を祈る。重陽節はまた敬老の日でもあり、中国各地でお年寄りを見舞うさまざまな行事が行われる。

日本では、重陽の節句の起源はほかの節句と同様古来中国にさかのぼることができる。中国の風習が日本に伝わり、平安時代には「重陽の節会」として宮中の行事となり、江戸時代には武家の祝日に。

その後明治時代までは庶民のあいだでもさまざまな行事が行われていたというが、残念ながら今では日本人の日常生活とは縁遠くなりつつである。

